



アドアーズ株式会社 2011年3月期 決算説明会



2011年5月27日(金)

アドアーズは、夢と感動あふれる“遊空間”の提供を通じて、
人々にうるおいと笑顔運びます。

「あなたの笑顔のために」——

Create Happiness! それが私達の願いです。

JASDAQ :4712

This program is brought to you by Corporate planning division

本資料に掲載されている弊社の計画、予想などは、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保障するものではありません。したがって、実際の業績はこの配布資料に記載されている目標とは大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

目次

1) 会社概要

2) 2011年3月期 実績

PL

BS・CF

3) 2012年3月期 計画・方針

4) 中期Vision・方針

※本資料内の“AM”は“アミューズメント”、“NJHD”は“株式会社ネクストジャパンホールディングス”の略です

1)会社概要

会社概要

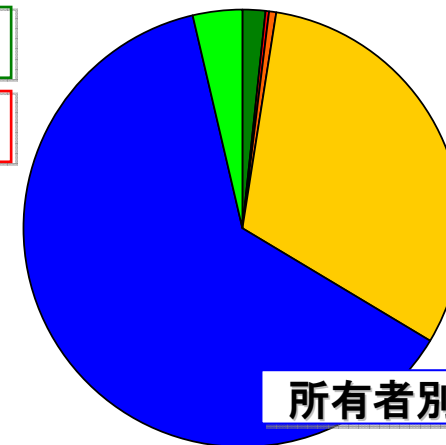
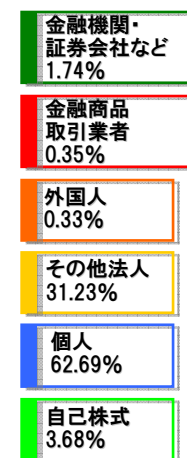
| | |
|--------|-------------------------------------|
| 商号 | アドアーズ株式会社 |
| 設立 | 1967年12月 |
| 本社所在地 | 東京都中央区日本橋馬喰町2-1-3 |
| 資本金 | 40億円 |
| 発行済株式数 | 109,557,592株(※) |
| 上場取引所 | 大阪証券取引所 JASDAQスタンダード (1998年店頭公開) |
| 従業員数 | 377名(社員) 714名(アルバイト等) |
| 事業内容 | アミューズメント施設の運営等 各種施設的设计施工 |

※平成22年4月14日付「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、同年4月30日を基準日として、普通株式1株につき2株の分割をしており、現在の発行済株式総数は109,557,592株となります

大株主の状況

(2011年3月31日現在)

| 株主名 | 所有株式数 | 持株比率 |
|--------------------------|------------|--------|
| GF投資ファンド投資事業有限責任組合 | 41,000,000 | 37.42% |
| 株式会社ネクストジャパンホールディングス | 26,054,000 | 23.78% |
| 鈴木 昭作 | 4,092,972 | 3.73% |
| アドアーズ株式会社(自己株式) | 4,026,944 | 3.67% |
| 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス | 3,420,000 | 3.12% |
| 星 久 | 1,653,848 | 1.50% |
| 岡田 浩明 | 1,212,000 | 1.10% |
| 株式会社ヤマニ | 1,176,920 | 1.07% |
| アドアーズ従業員持株会 | 1,073,930 | 0.98% |
| 株式会社ジョイントマスター | 1,066,000 | 0.97% |



※平成23年5月24日付「第三者割当による新株式発行および主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」のとおり、同年6月28日を発行期日として、15,000,000株の新株式発行に伴い、筆頭株主の異動が発生いたします。

所有者別分布状況

沿革

| | | |
|-------|------------|---|
| 1971年 | 12月 | 当社1号店『ゲームファンタジアミラノ店』開設(現存) |
| 1972年 | 7月 | ゲーム機器の自社開発を開始(現在は開発、製造、販売すべてを他社へ譲渡) |
| 1983年 | 10月 | ゲーミングマシン製造業者ライセンスを取得 (株式公開準備のため1991年5月に返上) |
| 1985年 | 7月 | 当時の室内アミューズメント施設としては世界最大級の床面積を誇る 『ゲームファンタジアサンシャイン店』開設(現存) |
| 1998年 | 11月 | 日本証券業協会に株式を店頭登録(現ジャスダック証券取引所) |
| 2000年 | 10月 | 株式会社シグマ(存続会社)、株式会社テクニカルマネージメント、 株式会社環デザインの3社が合併し、社名をアドアーズ株式会社に變更 |
| 2006年 | 3月 | 株式異動によりGF投資ファンド有限責任投資組合が筆頭株主となる (アルゼ株式会社は第2位株主) |
| 2007年 | 8月 | アルゼ株式会社の保有する1,800万株の株式を自己株式にて取得(うち900万株は消却) (同社の当社議決権比率が10%以下となり、主要株主から外れる) |
| 2008年 | 8月～ 10月 | 同業他社からの事業譲受を決定(2法人から計8カ店) 本格的カジノゲームラウンジ「Addict」を含む、2カ店の新店を開設し、年間18カ店の新店開設となる |
| 2009年 | 5月 | 株式会社ネクストジャパンホールディングスとの資本・業務提携発表 互いの発行済株式の9.9%を持ち合い、両社の協業体制の構築を目指す |
| | 9月～ 12月 | 株式会社ネクストジャパンホールディングスとの資本・業務提携の強化を発表 役員相互派遣のほか、資本提携を強化 |
| | 3月 | 株式会社ネクストジャパンホールディングスとのコラボ店舗、カラオケ門前仲町店を開設 同業アミューズメントフィールド社との合同イベント「メダルファンタジアカップ開催」 第三者割当による株式会社ネクストジャパンホールディングスへの自己株式の処分を実施 同社が当社第2位株主となる |
| 2010年 | 5月 | 株式分割(1株につき2株の割合)の実施 |
| | 6月 | マカオへ子会社設立(名称:ADORES MACAU LIMITED 当社100%出資) |
| 2011年 | 3月 | 東北地方太平洋沖地震発生(弊社2カ店被災:AD仙台一番町店、AD仙台富谷店) |
| | 4月 | 特別損失の計上、ならびに業績予想の修正を発表 株式会社ゲオと「カプセル自販機に関する業務委託」契約を締結 |
| | 5月 | 第三者割当による新株式発行および主要株主である筆頭株主の異動を発表 藤澤代表取締役会長をはじめとする新経営体制の開始 |

シグマ設立

独立系メーカー機能保有オペレーターであり、メダルのパイオニアとして業界を牽引。様々なエポックメイキングな商品も開発するも、後年は多角事業の失敗で財務破綻寸前まで追い込まれる

アルゼグループ時代

財務的には救われたもののメーカー系専門オペレーターとして苦戦(減益傾向が続く)

新生アドアーズのスタート

独立系専門オペレーターとして自由度の高い経営体制を推進。それに加えて、サービス業に特化した人材育成や各種施設展開が可能になった。

また同じく独立系専門オペレーターである株式会社ネクストジャパンホールディングスと資本業務提携を結び、業界発展に寄与する体制を構築

アドアーズ株式会社 2011年3月期 決算

2)2011年3月期 実績/PL





2011年3月期 決算

事業環境

1. 経済環境

国内外の経済不安
+
景気回復鈍化
+
雇用環境不安



生活基盤の
不安定化による
消費意欲減退

Down

2011年3月11日
東北地方
太平洋沖地震発生



日本経済全体への
打撃と、原子力発電
所問題+電力危機

Impact

生活防衛意識による消費マインドの減退に加え、
それを追い討ちをかけた震災と電力の供給問題

2. AM業界

経済不安定化に
影響される個人消
費単価の減少



消費(遊戯)単価は
ピーク時の2006年
と比べて、
2割以上減少

Decrease

従来よりAM業界が
抱える、ビジネス
モデルの問題点



変わらぬプレイ料金
に対して、年々高性
能化が進むマシン価
格高騰による薄利化

Narrow
margin

個人消費単価の減少に加え、年々薄利化が進む
AM業界内は、中小企業を中心とした淘汰再編
のパラダイムシフトに陥る

AM業界のみならず、日本の娯楽・余暇
産業全体にかかる深刻な状況に直面

2011年3月期 決算／コーポレートアクション

震災発生に関して

2011年3月11日に発生した震災による当社への影響ならびに対策

震災発生による影響

- ・仙台2カ店(AD仙台一番町、AD仙台富谷)の営業停止
- ・大半のアドアーズ店舗での営業時間短縮
- ・販促活動の抑制など自主的な営業体制の見直し
- ・設計・施工事業においては一部の受注案件工期が延期



震災発生に伴う営業時間の短縮や計画停電、販促自粛などにより売上が急落するも、4月以降は順調に回復
(お客様・従業員の人的被害はありませんでした)



震災発生後の当社活動

●AM施設運営事業

- 全店舗での店頭看板消灯や店内照明削減など、一切の販促活動を自粛
- マシン電源OFFによる消費電力抑制
- 一部店舗におけるチャリティイベントの実施

●設計・施工／不動産事業

- 被害を受けた店舗(建物)の保守点検、ならびに修繕

●全社

- アドアーズ店舗店頭における募金活動の展開
- アドアーズ本社内にて、従業員による募金活動
- 2011年3月度売上の一部(1千万円)を、被災地復興支援のための義援金として、日本赤十字社を通じて寄付
- 全社あげての節電協力 (エアコン温度調節・店舗/本社双方でクールビズの早期実施)

●今後

- 照明、空調の節電対策および電力使用抑制のため、デマンド監視装置導入検討により、15%以上の削減目指していく予定

※1.デマンド(30分間の平均電力)を監視し、設定したデマンドを超える恐れがある場合に自動的にピーク制御を行い、電力超過抑制・電力コストを抑える装置

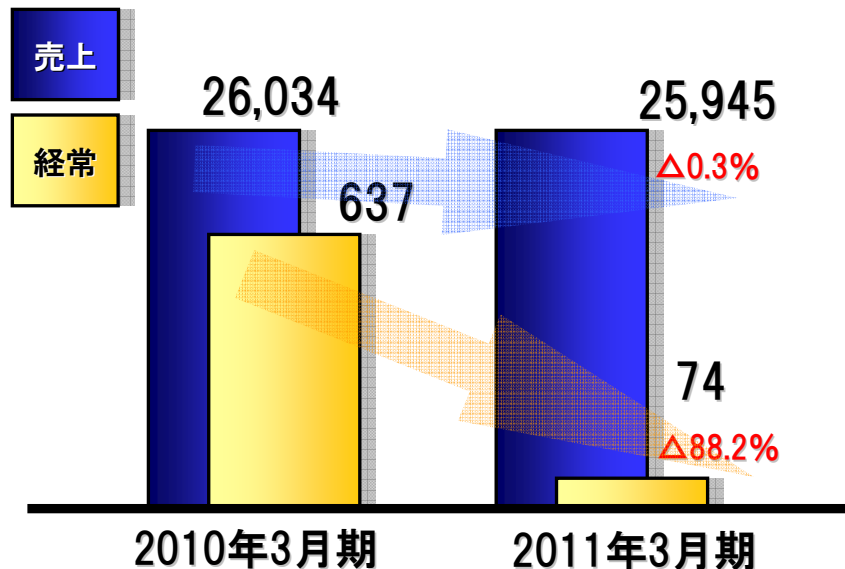


2011年3月期 決算

全社実績

(単位：百万円)

| | 2010年3月期 | 2011年3月期 | 前期差 | 前期比 |
|------|----------|----------|---------|-------|
| 項目 | 実績 | 実績 | (百万円) | (%) |
| 売上高 | 26,034 | 25,945 | △ 88 | △0.3 |
| 営業利益 | 848 | 263 | △ 584 | △68.9 |
| 経常利益 | 637 | 74 | △ 562 | △88.2 |
| 純利益 | 270 | △ 4,197 | △ 4,468 | — |



(減収要因)



新規顧客層の獲得は進んだものの、個人消費マインドの停滞感に伴うお客様単価の伸び悩みや、3月の震災の影響によるもの

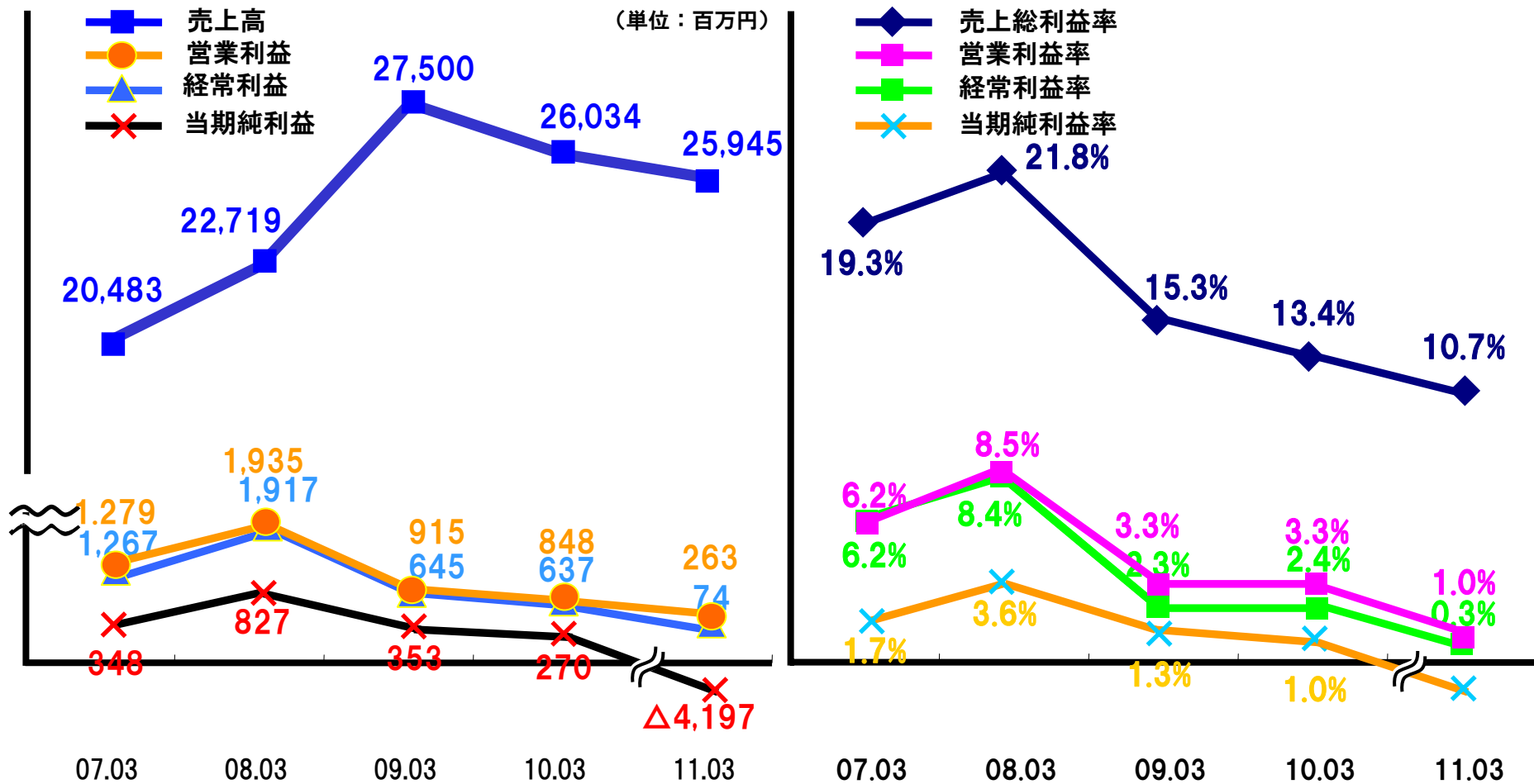
(減益要因)



AM施設運営事業の軟調傾向のほか、設計・施工事業業界での競争激化による受注案件の利益率の低下によるもの

2011年3月期決算の概況／損益5ヵ年推移

売上推移・各種利益率推移グラフ



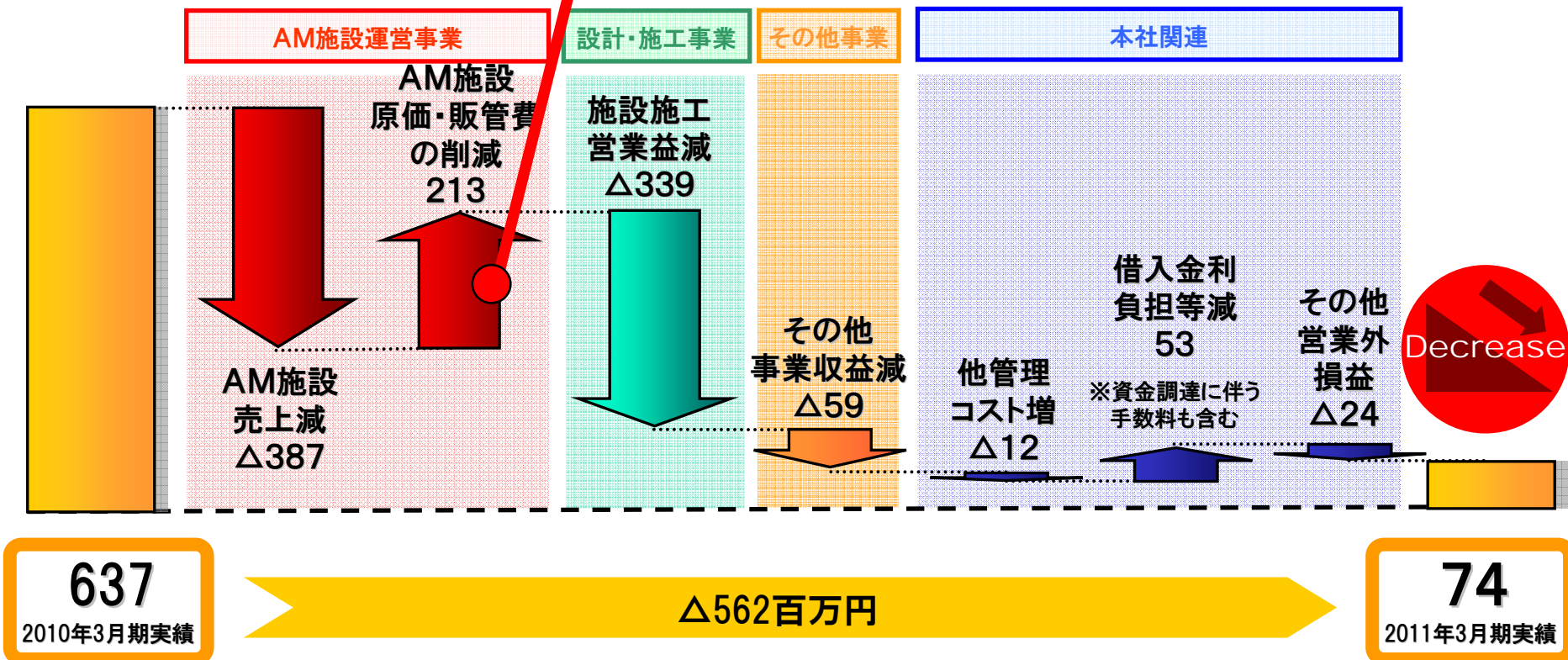
2011年3月期決算／営業損益分析

経常利益分析(前年差)

(単位:百万円)

AM施設コスト削減：主な内訳

| | |
|------------------------------|---------|
| ○AM過年度新店の償却進行による償却費減 | +373百万円 |
| ○AM施設運営費の増加 (プライズ好調に伴う景品増加等) | △428百万円 |
| ○店舗賃借料の減小 | +104百万円 |
| ○本部販管費の圧縮 | +114百万円 |
| ○その他 | +50百万円 |



2011年3月期決算／特別損失分析

特別損失内訳

(単位:百万円)

将来を見据えた不採算店舗・資産の整理、
ならびに保有不動産の見直しにより減損損失・評価減を計上

| | |
|----------------|--------------|
| 店舗関係 | 2,662 |
| 内外装設備の減損 | 855 |
| 閉店に伴うAM機器の減損 | 638 |
| 閉店に伴う原状回復費用 | 237 |
| 閉店に伴う賃貸借契約解約費用 | 557 |
| 閉店に伴うその他費用 | 43 |
| のれん減損認識 | 332 |
| 不動産関係 | 1,382 |
| 保有不動産などの減損・評価減 | 1,382 |
| その他 | 245 |
| その他資産の損失 | 245 |
| 合計 | 4,289 |

将来収益に向けて

電力危機や市況予測を保守的に見積もり、資産効率をふまえて、店舗資産の減損や閉店を決定

将来のリスク回避に向けて

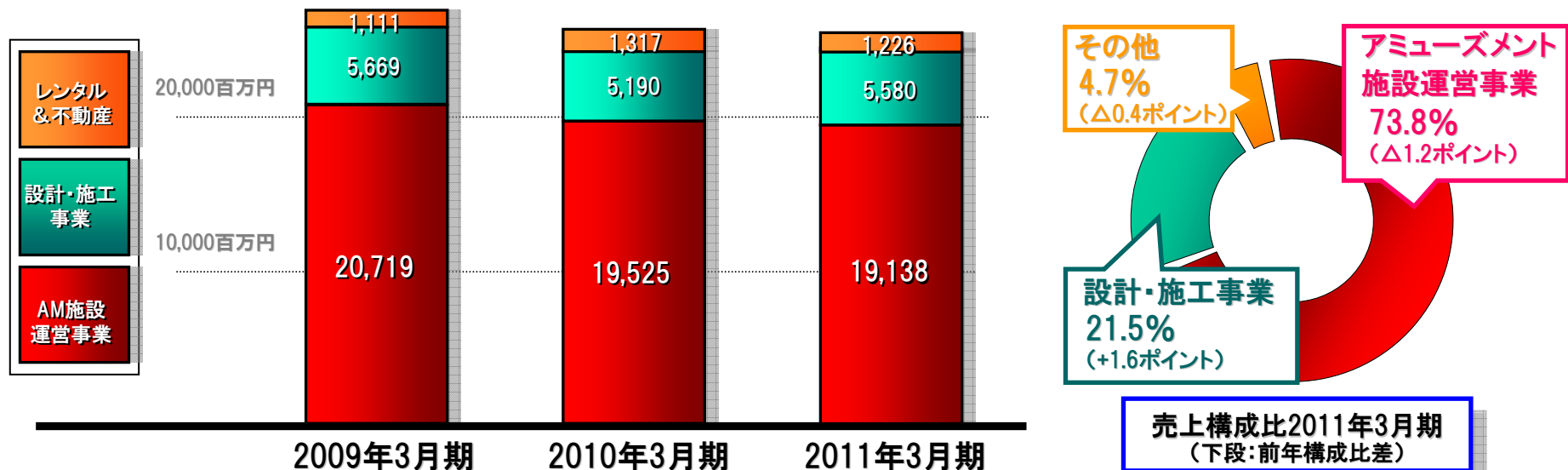
不動産や債権の収益可能性を保守的に見積もり、収益悪化と判断した資産については、積極的に売却する意向を固めた上で、国際財務報告基準の適用を見据えた減損・評価減を実施

2011年3月期決算

セグメント別 売上高推移

(単位:百万円)

| | 2008年3月期 | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 2011年3月期 |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 項目 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| AM運営 | 19,358 | 20,719 | 19,525 | 19,138 |
| 施設・施工 | 1,952 | 5,669 | 5,190 | 5,580 |
| レンタル | 893 | 364 | 306 | 226 |
| 不動産 | 515 | 747 | 1,011 | 1,000 |
| 計 | 22,719 | 27,500 | 26,034 | 25,945 |

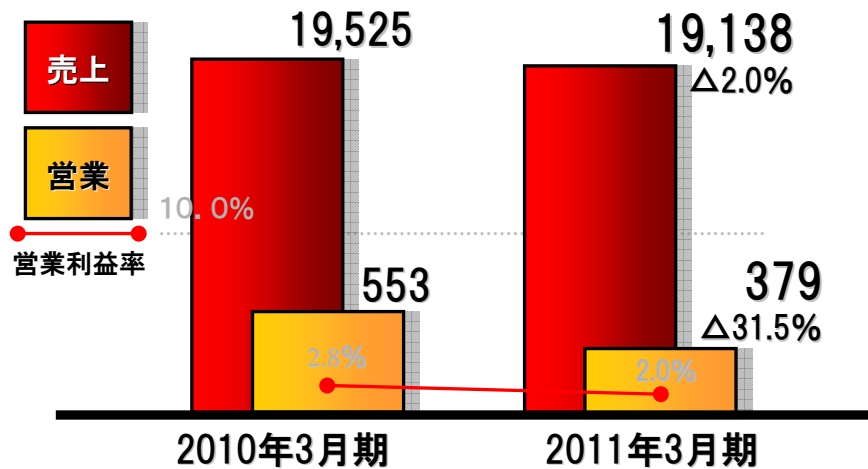


2011年3月期 決算の概況

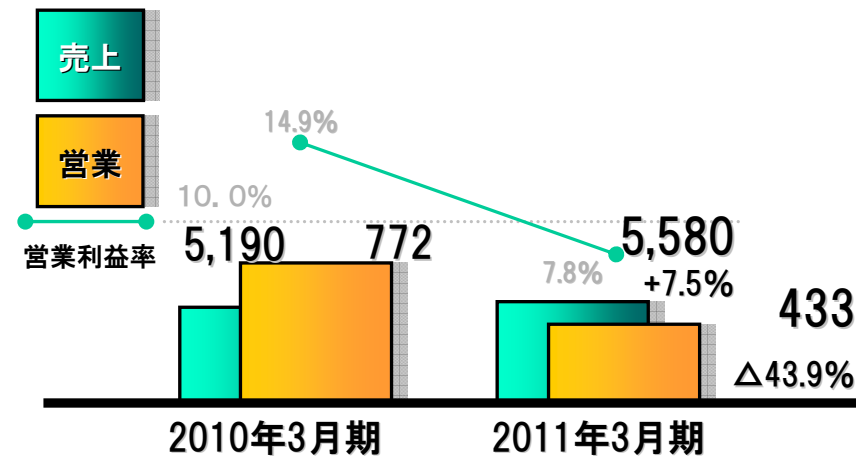
セグメント別 売上・(事業部)営業利益

(単位:百万円)

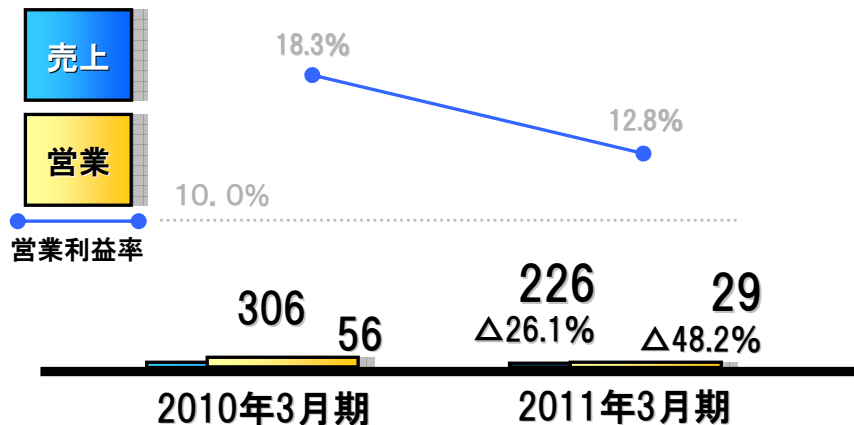
アミューズメント施設運営事業



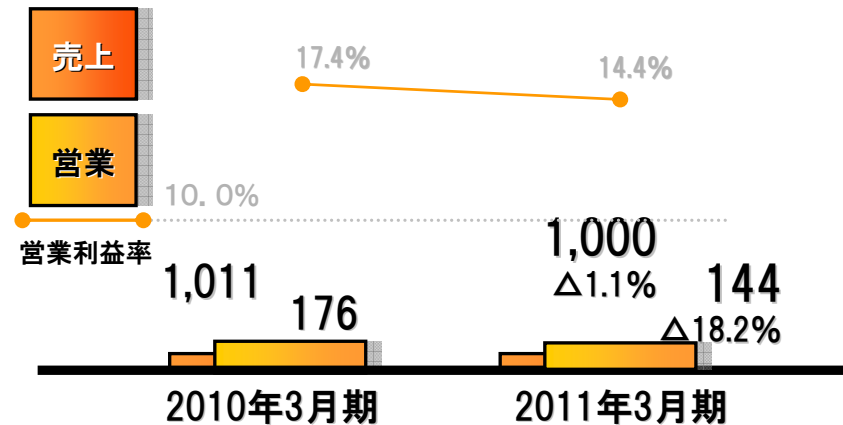
設計・施工事業



レンタル事業



不動産事業



営業利益:事業部別営業利益(間接部門費などの控除前利益)

2011年3月期 決算／セグメント別概況

AM施設運営事業 / 戦略・概況

業界再編をチャンスと捉えた

既存店舗の競争力を重視したマーケットシェア獲得戦略

① 次世代アミューズメント施設のサービス力

- 女性・シニア層など広がるお客様の層にリーチするサービス
「接客力+提案力+アプローチ」の強化に加え、「おもてなし」の心を付加
- エリアマネージャー体制細分化により、地域性を踏まえた肌理細やかな改善・運営により、居心地の良さを顧客層に合わせた追求



② 消費単価減少を補う 新規お客様へのアプローチ

- プライズ・プリクラ等の強化による新規お客様の獲得
- 中国観光客向けにオンライン決済システム「銀聯カード(ChinaUnionPay)」の導入



③ 将来に向けた差別化構築

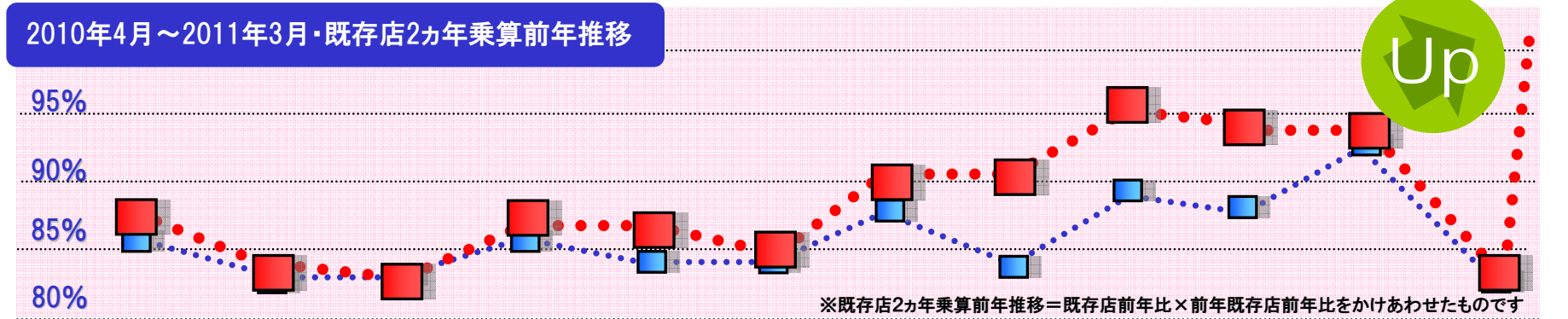
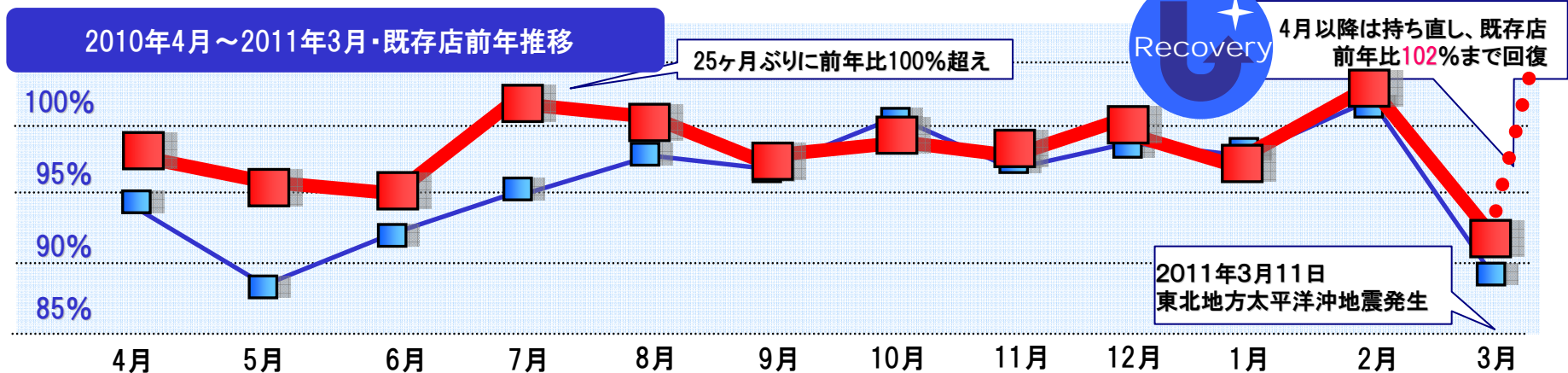
- 海外市場にも目を向け、大手カジノホテル運営のSANDSと手を組む
- NJHD社傘下企業と合同でオリジナル景品の開発等を含む独自の強化策を推進



2011年3月期 決算／セグメント別概況

AM施設運営事業 / 既存店売上高推移

■:アドアーズ ■:大手数社平均

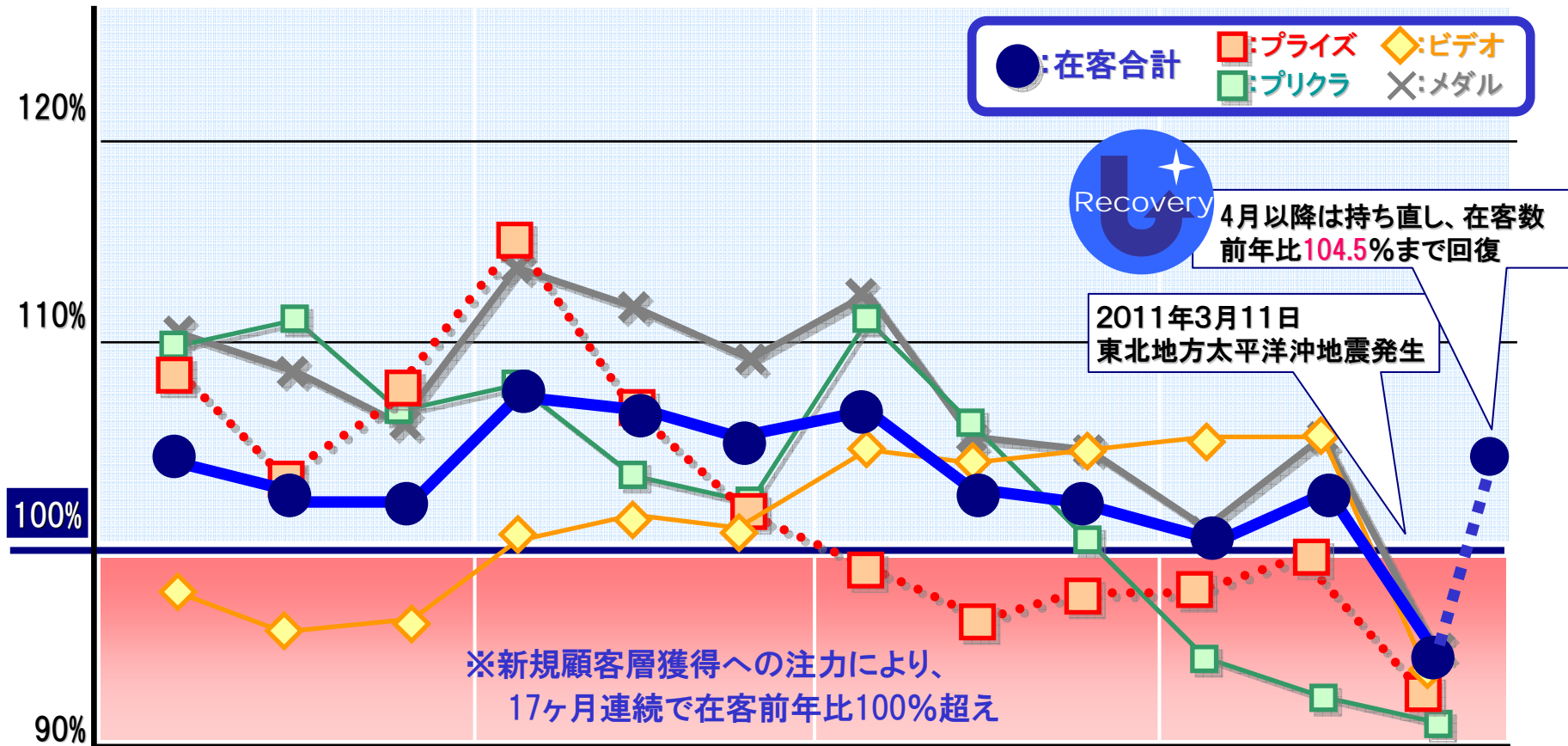


| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 既存店前年比 | 99.2% | 96.4% | 95.9% | 102.3% | 100.7% | 97.6% | 99.7% | 98.9% | 101.1% | 97.8% | 103.2% | 91.3% |
| 既存店2カ年乗算比 | 87.3% | 84.8% | 82.2% | 87.5% | 86.5% | 85.2% | 90.7% | 90.7% | 97.4% | 94.6% | 93.9% | 82.9% |

2011年3月期 決算／セグメント別概況

AM施設運営事業 / 既存店ジャンル別在客推移

(前年同月対比)



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 在客数前年比 | 104.9% | 102.6% | 102.1% | 108.5% | 107.3% | 105.3% | 107.7% | 103.5% | 102.3% | 100.6% | 103.8% | 92.4% |

2011年3月期 決算／セグメント別概況

AM施設運営事業 / ジャンル別売上高の推移

(単位:百万円)

- ① メダルゲームはお客様単価の伸び悩みから軟調傾向
- ② プライズ・プリクラゲームは各種集客施策によって、売上・売上構成ともに伸張
- ③ アーケードゲーム(ビデオゲーム)は、既存人気ゲームのVer. Upで牽引も、
カード・マスアーケードゲーム(カード排出型・多人数向け)は伸び悩み
→11月に開設したプライズ・アーケードゲームに特化した新業態店舗のノウハウを既存店へ

| | 2010年3月期 | 構成比 | 2011年3月期 | 構成比 | 前年同期差 | 増減率 |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| ① メダルゲーム計 | 9,049 | 46.3% | 8,441 | 44.1% | △ 608 | -6.7% |
| メダルゲーム | 6,556 | 33.6% | 6,202 | 32.4% | △ 354 | -5.4% |
| パチンコ・パチスロ機 | 2,493 | 12.8% | 2,239 | 11.7% | △ 254 | -10.2% |
| ② プライズゲーム | 3,605 | 18.5% | 4,028 | 21.0% | 423 | 11.7% |
| プリクラゲーム(AM自販機) | 631 | 3.2% | 664 | 3.5% | 33 | 5.2% |
| ③ アーケードゲーム(ビデオゲーム) | 5,319 | 27.2% | 5,071 | 26.5% | △ 248 | -4.7% |
| その他 | 921 | 4.7% | 935 | 4.9% | 14 | 1.5% |
| 合計 | 19,525 | 100.0% | 19,138 | 100.0% | △ 387 | -2.0% |



2011年3月期 決算／セグメント別概況

設計・施工事業／概況

(単位:百万円)

| 項目 | 2010年3月期 実績(百万円) | 2011年3月期 実績(百万円) | 前期差 (百万円) | 前期比 (%) |
|------|---------------------|---------------------|--------------|------------|
| 売上高 | 5,190 | 5,580 | 390 | 7.5% |
| 営業利益 | 772 | 433 | △ 339 | △43.9% |



得意としている娯楽・健康施設やオフィスビルなども堅調に受注獲得

(増収要因)



3月末完工予定であった大型案件の一部が、震災の影響で翌期に延期となったものの、積極的な提案型営業の推進などにより増収確保



自社店舗開設で培った「エンターテインメント性」や「効率的な顧客誘導・動線」、「短納期」など、当社ならではのノウハウを活かした提案営業で安定した受注を獲得

(減益要因)



昨年度のような高利益率の大型物件等の特需がなかったことに加え、業界全体の競争激化による利益率の低下により減益



アドアーズ株式会社 2011年3月期 決算

2)2011年3月期 実績/BS・CF

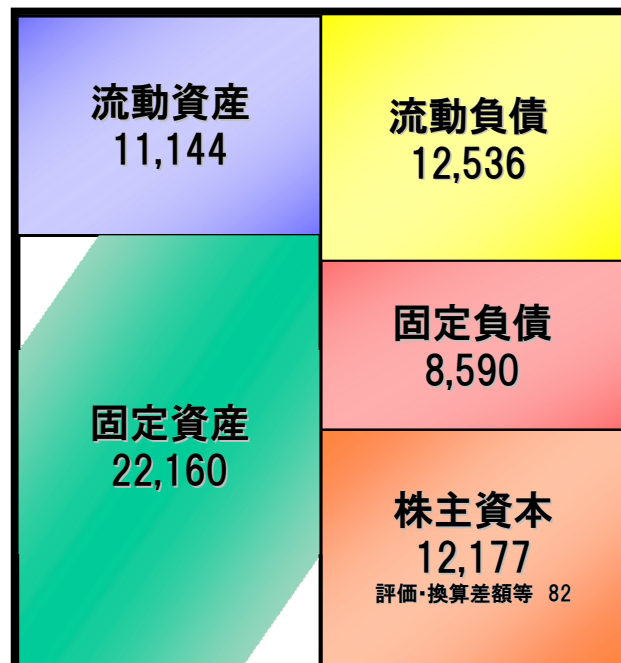


2011年3月期 決算実績 / BS・CF

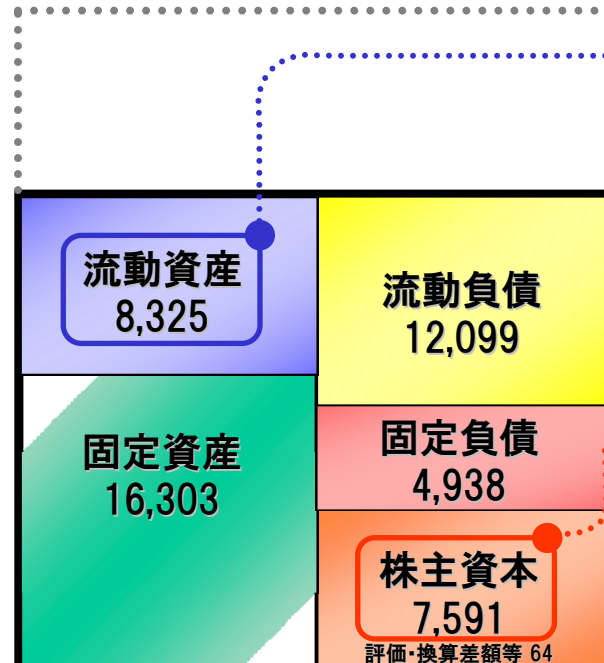
貸借対照表

(単位:百万円)

有利子負債の圧縮により、財務面の良化はあったものの
収益性の悪い事業資産の減損等により、純資産が大きく毀損



2010年3月期末
総資産33,304百万円



2011年3月期
総資産24,629百万円

流動比率
88.9%(10.03)
⇒68.8%(11.03)

現預金の減少
→ 完成工事未収入金の増加、
ならびに借入圧縮に伴う
現預金の減少

株主資本比率
36.6%(10.03)
⇒30.8%(11.03)

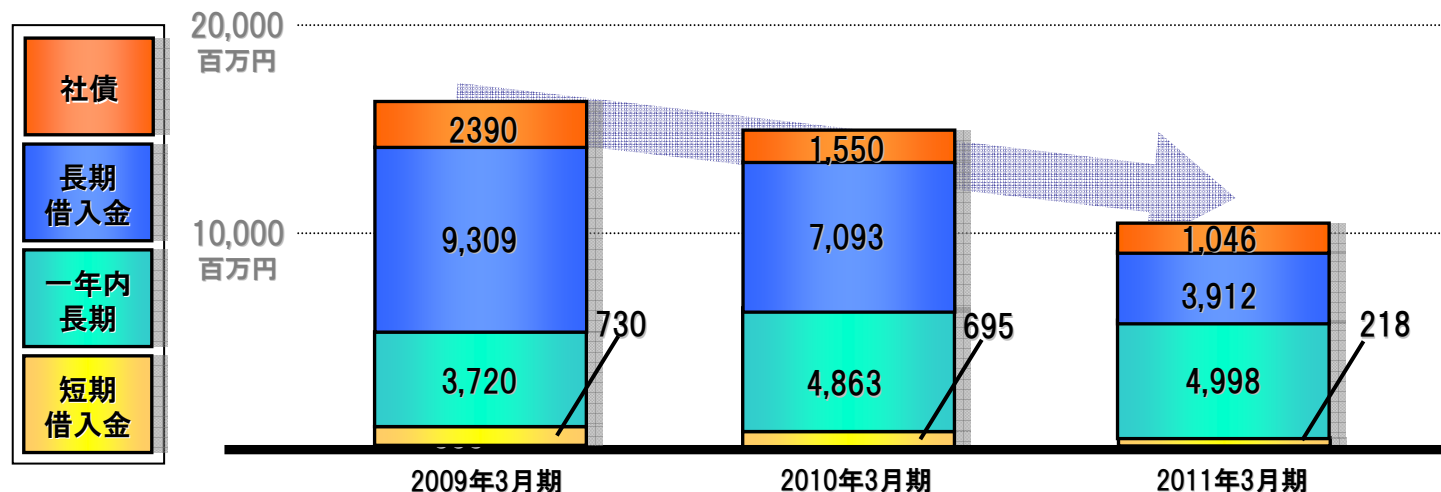
繰越欠損の発生
→ 不採算事業や資産の再評価に
伴う特別損失の計上による当期
純損失4,197百万円への転落

2011年3月期 決算実績 / BS・CF

有利子負債の推移

(単位:百万円)

| | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 2011年3月期 |
|----------|---------------|---------------|---------------|
| 項目 | 実績 | 実績 | 実績 |
| 短期借入金 | 730 | 695 | 218 |
| 一年内長期 | 3,720 | 4,863 | 4,998 |
| 長期借入金 | 9,309 | 7,093 | 3,912 |
| 社債 | 2,390 | 1,550 | 1,046 |
| 計 | 16,150 | 14,202 | 10,175 |



2011年3月期 決算実績 / BS・CF

キャッシュフローの推移

(単位:百万円)

全体的な収益悪化、設計施工の収支ズレにより営業CFが悪化
流動性資金や投資抑制分を積極的に借入返済に充当

| | 2010.03 | 2011.03 | 前期差 | |
|--------------|---------|---------|---------|------------------------------|
| 項目 | 実績 | 実績 | (百万円) | |
| 営業CF | 9,031 | 3,849 | △ 5,181 | 減損無しでも事業収益の悪化の影響有り |
| 税前当期利益 | 501 | △ 4,173 | △ 4,674 | |
| 減価償却費 | 4,651 | 4,210 | 440 | 期末完工集中による完成工事未収入金増 & 工事仕入の集中 |
| 売上債権増減 | 1,444 | △ 952 | △ 2,396 | |
| 仕入債務増減 | 1,672 | 512 | △ 1,159 | |
| 法人税等 | △ 10 | △ 173 | △ 162 | 減損損失 |
| その他 | 771 | 4,423 | 3,652 | AMマシン投資抑制ならびに預金減少 |
| 投資CF | △ 2,235 | △ 1,966 | 268 | |
| 財務CF | △ 1,547 | △ 5,273 | △ 3,725 | 前期自己株式処分、借入金圧縮 |
| 現金等増減 | 5,248 | △ 3,390 | △ 8,639 | 借入の抑制に伴う現預金の減少 |

アドアーズ株式会社 2011年3月期 決算

2)2012年3月期 来期計画・方針





2012年3月期 計画・方針

AM業界今後の動向予測ならびに課題

市況動向： 今夏想定される、全国規模の
電力供給不足による外部環境の悪化



業界動向： AM業界の淘汰・再編が進行する中
において、追い討ちをかける市況の悪化



課題： 喫緊の電力危機を業界全体で乗り越えた上で、
既存店舗における収益性の維持



2012年3月期 計画・方針

2012年3月期・全社スローガン&事業戦略

全社スローガン『**気 概**』

NEVER GIVE UP の精神で 危機難局を乗り越える「気概」「情熱」を持つ
次世代アミューズメント施設を確立する為「革新」を図る

1 『次世代アミューズメント施設の確立』

Progress

- ① 変わりゆく業界、顧客層やニーズを適確に掴んだ「サービス」提供力の強化
- ② 今を捨ててでも、将来を見据えた変革へのチャレンジ
- ③ 業務提携、業界慣習の打破など、既存の常識にとらわれない新しい連携強化

2 『景気に左右されないポートフォリオの確立』

Development

- ① デザイン・設計施工事業の強化
- ② 新規事業の創設・確立

今期および今後の展望／45期事業計画

2012年3月期・全社数値計画

(単位:百万円)

| | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 前期差 | 前期比 |
|------|----------|----------|---------|----------|
| 項目 | 実績 | 計画 | (百万円) | (%) |
| 売上高 | 25,945 | 24,000 | △ 1,944 | △ 7.5% |
| 営業利益 | 263 | 900 | 636 | + 241.4% |
| 経常利益 | 74 | 700 | 625 | + 833.5% |
| 当期利益 | △ 4,197 | 450 | 4,647 | — |

44期特損計上^(※)によるPLへの影響

※2011年4月19日付「特別損失の計上及び業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」

(単位:百万円)

| AM施設運営事業 原価及び販管費減 | | |
|-------------------|-----------|--------------|
| ① | AM内外装償却費 | △ 140 |
| ② | AM機器償却費 | △ 320 |
| ③ | AM保証敷金償却費 | △ 9 |
| ④ | のれん償却 | △ 76 |
| 合計 | | △ 545 |

来期の収益性改善に関して



第2事業の設計・施工事業の面では競争激化からの利益率減少による利益減があるものの、前期の減損処理実施によってAM施設運営事業は償却費の減少により大幅増益となる。また、引き続き全社一丸となったコストの削減や、既存店舗の売上維持計画により、増益を見込む

2012年3月期 計画・方針

2012年3月期 コーポレートアクション



組織変革

大幅な組織変革を実施することで、経営体制を抜本的に変革、**強固な収益体質を構築**

- 先行きの見通せない危機難局に対し、これまで当社が継続して行ってきた既存の常識に囚われない、「柔軟な視点」の獲得
- 大幅なリストラクチャリングをもって「ヒト」を変え、厳しい環境下においても「モノ」・「カネ」を生み出す、強固な収益体質の構築



2012年3月期 計画・方針

2012年3月期 コーポレートアクション／変革①

藤澤信義氏が代表取締役会長として新たに就任

- 取締役の任期2年を1年に
- 資本業務提携先である株式会社ネクストジャパンホールディングスから2名の取締役の招聘
- 既存役員を担当部門を見直し、明確な責任の中で再始動
- 組織変更に伴い、本社機能をワンフロアに集約、業務の効率化
- 新人事制度の導入

経営責任を明確にし、シンプルかつスピーディな経営を目指す。
同業/異業種を問わない柔軟な連携姿勢と徹底した自社改革。
真に業界のリーディングカンパニーたるべく、積極的な経営を展開

2012年3月期 計画・方針

2012年3月期 コーポレートアクション／変革②

株式会社ネクストジャパンホールディングスへの 第三者割当増資 およびそれに伴う筆頭株主の異動

| | | |
|------|-----------|---|
| 募集概要 | ●発行期日 | 平成23年6月28日 |
| | ●発行新株式数 | 普通株式 15,000,000株 |
| | ●発行価額 | 1株につき54円 <small>※平成23年4月20日～平成23年5月23日の期間、当社株式の終値平均価格</small> |
| | ●発行価額の総額 | 810,000,000円 |
| | ●資本組入額の総額 | 405,000,000円 |
| | ●その他 | 株主総会の特別決議を条件 <small>※有利発行には該当しないものと判断</small> |

筆頭株主の異動

増資前

| | |
|-------|---|
| 第1位株主 | GF投資ファンド 41,000千株／持分比率37.4% |
| 第2位株主 | ネクストジャパンHD 26,054千株／持分比率23.8% |

増資後

| | |
|-------|--|
| 第1位株主 | ネクストジャパンHD 41,054千株／持分比率32.96% |
| 第2位株主 | GF投資ファンド 41,000千株／持分比率32.92% |

当社の株主支援による財務体質の健全化と
代表取締役&筆頭株主の双方の立場で企業価値向上に資する

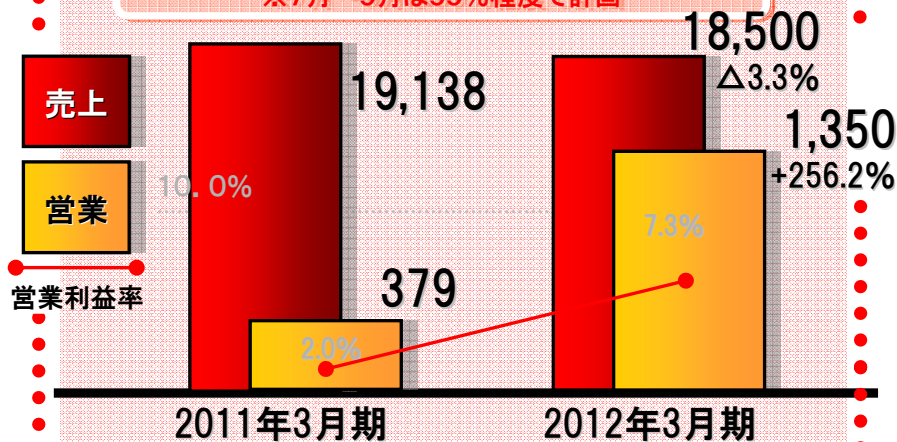
今期および今後の展望 / 45期事業計画

2012年3月期・セグメント別 売上・(事業部)営業利益

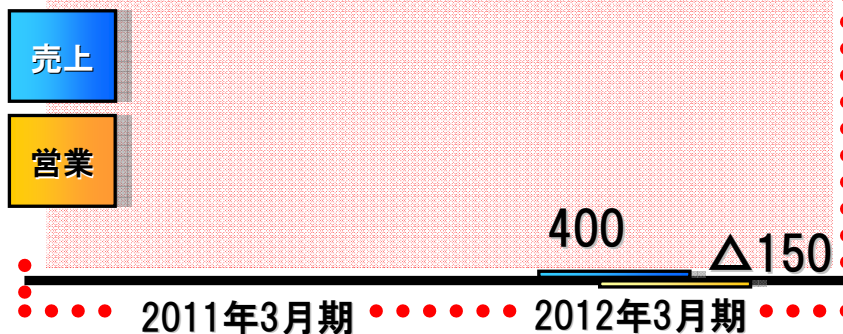
(単位:百万円)

アミューズメント施設運営事業

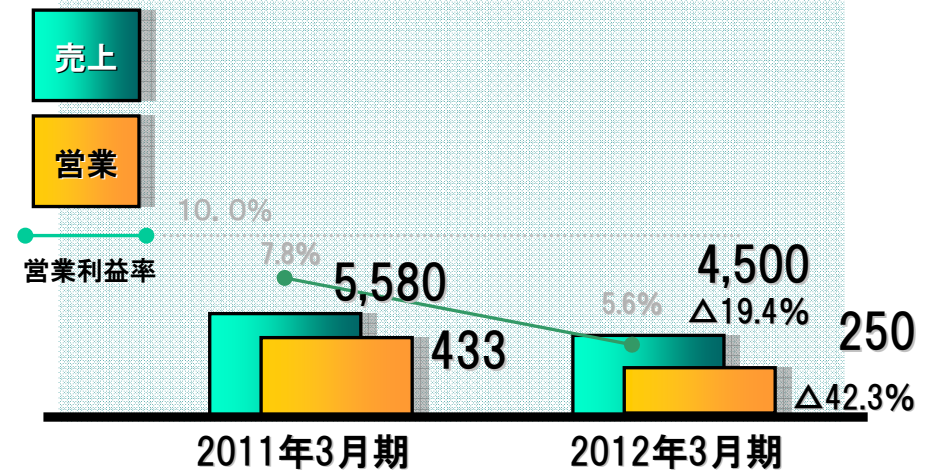
既存店売上高前年比 101%(閉店抜)
※7月~9月は99%程度で計画



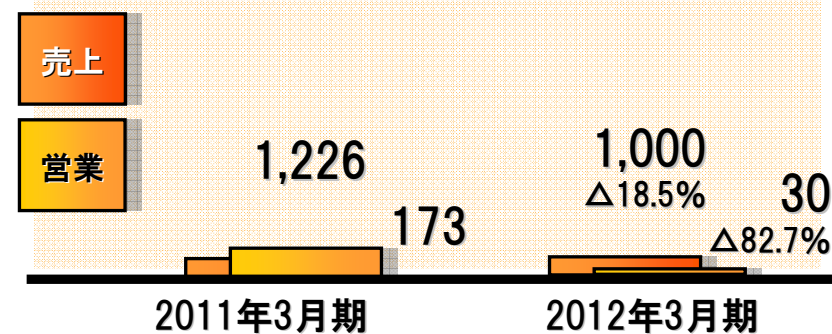
バンディング事業(AM事業内へ含む)



設計・施工事業



不動産事業&レンタル事業



2012年3月期 計画・方針

来期戦略／AM施設運営事業

集客力の向上

Base

- 継続的な新規顧客の獲得
- プライズ・プリクラ運営の更なる強化

既存店舗の集中強化

Competitiveness

- 不採算店のスクラップを含めた徹底したコスト削減
- 個店毎の顧客層/地域性に合わせた肌理細やかな施策・サービス開発と提供

将来の差別化に向けて

For the future

- 接客コンテスト等、継続してサービス力の強化を推進
- ベンディング事業や海外店舗等、新規事業の積極的推進
- リストラクチャリングによる体制の変更

2012年3月期 計画・方針

来期戦略／設計・施工事業、その他事業

設計・施工／営業力の強化による新規顧客獲得に注力

- リストラクチャリングによる取締役3名体制への移行
→ 双方の見識による、より適確な経営判断と意思決定の
迅速化・責任の明確化
- 営業力強化を念頭に、人的・資金的双方ともにリソースの
適切な見直しを図る

Reinforce

将来を見据えた企業連携・既存事業に資する事業開発

- ベンディング事業の推進
株式会社ゲオとも良好な関係を構築しながら、新たな収益機会の開発
- マカオをはじめとする、海外展開
- M&Aや各種提携の継続検討

Acceleration

2012年3月期 計画・方針

来期戦略／その他施策など

新規事業の展開

In progress

● 株式会社ゲオとのカプセル自販機の設置・運営に関する業務受託開始

○初年度の売上についてはおおむね400百万円程度を見込むものの、順調に設置台数を伸ばした場合、初年度に本体等の初期投資費用を一括計上するため、事業部営業利益は150百万円程度まで赤字幅が広がる見通し

新たにベンディング (カプセル自販機) 事業部を設置

株式会社ゲオが運営する各種施設でのカプセル自販機運営委託事業を足掛かりに、他企業での集客付加価値提案として積極的に営業できる体制を構築



同業・異業を問わず、開拓姿勢を継続することを含め、また自社においてもその改革姿勢を断行し続けることで、真に業界のリーディングカンパニーたるべく、積極的な経営を展開

アドアーズ株式会社 2011年3月期 決算

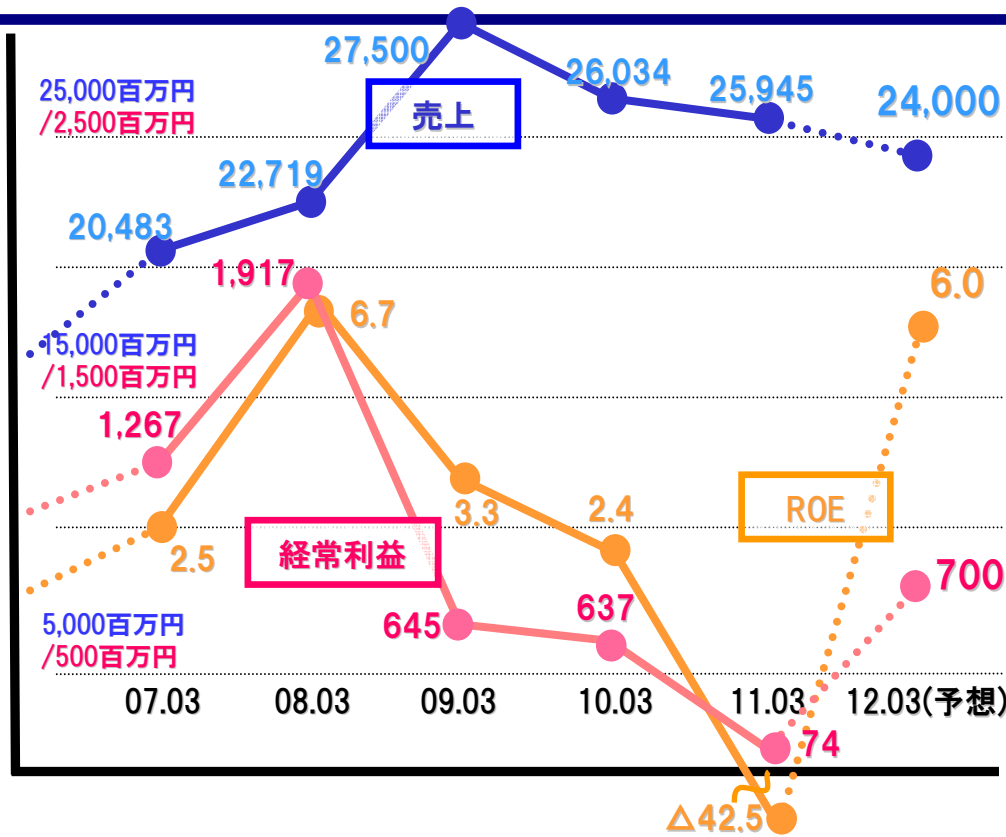
4)中期Vision・方針



2011年3月決算／中期Vision・方針

中長期の目標

経常利益率10.0%／ROE10.0%
アミューズメント施設運営専門オペレーターNo.1



業界のリーディングカンパニーとして、
老若男女・みんなが楽しめる
『次世代アミューズメント施設』の開発



アミューズメント施設の
設計デザイン力を活かして
受注量を拡大



経営・収益責任の明確化
積極的な提携・戦略的投資
組織風土の改革

株主還元・配当政策

利益配分に関する基本方針

株式市場での評価を高めるとともに
早期の安定配当を目指す

| 配当実績 | 42期 | 43期 | 44期 | 45期 |
|------|-------|--------|------|-----|
| 配当/株 | 3.5円 | 3.5円 | 0.0円 | 未定 |
| 配当性向 | 89.5% | 118.4% | — % | — % |

震災影響等、不透明な難局を乗り越えることが最大の株主還元と判断し、44期期末配当は一株あたり3.5円を無配(0円)に修正



店舗・資産のリストラクチャリングによって、収益を確保できる体勢へと向かっているものの、電力危機による夏時期が影響が不透明であることから、45期の配当は現時点で「未定」

早期復配に向けて

増資のほか、資本政策について
44期株主総会へ付議

44期の純損失4,197百万円による欠損金3,172百万円を一掃すべく、資本準備金、利益準備金、別途積立金を欠損補填のために振替え、欠損を補填

「あなたの笑顔のために」



(注)

この配布資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社が作成日現在入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況等の不確実な要因の影響を受けます。したがって実際の業績は、この配布資料に記載されている目標とは大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料の問い合わせ先：アドアーズ株式会社 経営企画室 IR・広報担当 Tel :03-5623-1115

E-Mail IR@adores.co.jp / URL <http://www.adores.co.jp/>